

◆自立援助ホーム しおんは、どういうところ？（その2）

自立援助ホームは、義務教育終了後、何らかの理由で家庭にいられなくなったり、児童養護施設等を退所し、働かざるを得なくなった、原則として15歳から20歳までの青少年たちが、暮らしています。

しおんのルールは、「仕事をする事」「毎月2万円の利用料を納めること」「自立のために貯金すること」です。「入居者同士が安心して暮らせるように」約束はありますが、自分で考え行動し、就労しながら、自分で責任を負うことの厳しさを体験し、社会へ自立していくための準備をスタッフと共にしています。

●基本方針●

1、キリスト教の精神に基づいた自立支援を行う。

- ・すべての人は神から託された子どもとして、一人ひとりを尊び、愛し、成長を共に喜ぶ。
- ・愛される体験を通して、自分を大切にし、仲間を思いやれる心を育てる。

2、信頼関係の再構築に努める。

- ・食を通して、心身共に健康で安心した生活が送れるよう心のこもった手作り料理を提供する。
- ・励ましや労いの言葉をかけたり、玄関に出て見送る。団らんの時間を大切にし、個別の相談に乗り、大切にされているという実感が持てるよう関わる。

3、基本的生活習慣を身につけ自主性を養う。

- ・様々な経験の機会を保証し、自己選択、決定から自己肯定感の向上に努める。
- ・規則正しい生活を送り、自分の生活に合わせた時間の管理ができるように支援する。

●生活の様子●

- ・誕生日にはリクエストに応じて好きなメニューやケーキを用意しお祝いします。
- ・休みの日には、それぞれ自分の趣味や好きなことをして過ごします。バイクが好きな子は、アメリカンなバイクを購入しツーリングやメンテナンスをしたり、自転車が好きな子はサイクリングに出かけたり、ホームに友達を呼んでゲームをしたり、一緒にご飯を食べたりしています。
- ・ホームには大きな庭があり、桜のお花見をしたり、庭で収穫した梅でジュースを作ったり、みかんではジャムを作ったりして子どもたちに人気です。

住所：〒509-9131 中津川市千旦林 1468-52

TEL：0573-78-0270

<児童養護施設 麦の穂学園>

◆下記のような支援をしていただける企業様、募集中です。

- ・子どもフェスティバルに向けて、バザー品の提供
- ・当日の店番等のボランティア
- ・施設的环境整備 木の伐採等

【連絡先】

住所：〒509-9131 中津川市千旦林 1468

TEL：0573-68-2168

<児童養護施設 日本児童育成園>

◆下記のような支援をしていただける企業様、募集中です。

- ・岐阜オレンジリボンたすきリレーのグッズ（児童虐待防止啓発グッズ）
配布活動のボランティア
（メモリアルセンターでのゴールイベントの手伝い）

【連絡先】

住所：〒502-0065 岐阜市長良森町 1-11

TEL：058-296-2172（子ども家庭支援センター「はこぶね」）

<児童自立支援施設 わかあゆ学園>

◆下記のような支援をしていただける企業様、募集中です。

- ・草刈りのボランティア
- ・木の剪定のボランティア
- ・テーブルマナー（食事のマナー）講習のボランティア
- ・農作業指導のボランティア
※時期は問いません。草刈りや木の剪定は、常時希望しています。
- ・職場体験学習の受け入れ先
※2学期～就職決定の時期、職種は問いません。

【連絡先】

住所：〒501-0515 揖斐郡大野町桜大門 457

TEL：0585-32-2240

| 【3】 イベントのお知らせ



■清流の国ぎふオレンジリボン 児童虐待防止講演会

県では、児童虐待防止推進月間の11月13日（火）に、「清流の国ぎふオレンジリボン児童虐待防止講演会」を開催します。

これを機会に、一人でも多くの子どもが家族と暮らすことができるよう一緒に考えていただきたいと思いますので、ぜひご参加ください。

- ・日時：平成30年11月13日（火） 13：00～15：00
- ・場所：ぎふ清流文化プラザ 長良川ホール（TEL：058-233-8121）
- ・内容：○テーマ：「子ども虐待をめぐる心理～虐待する親と虐待された子ども～」
○講師：山梨県立大学 西澤 哲 教授
- ・申込方法：郵送、FAX、メールにより申込みください。（先着300名）

※託児、手話通訳、要約筆記の利用について希望を受け付けます。

<申込・問合せ先>株式会社プラド内

「清流の国ぎふオレンジリボン児童虐待防止講演会」参加募集係

住所：〒500-8833 岐阜県岐阜市神田町1-8-4 プラドビル

TEL：058-264-1173 FAX：058-266-6300

（受付時間 平日9：30～17：30）

メール：seiryu_orange@prad.co.jp

■第11回岐阜オレンジリボンたすきリレー

県内の児童福祉関係者やボランティアが中心となり、「第11回オレンジリボンたすきリレー」が開催されます。

オレンジリボンをたすきに仕立て、児童虐待防止のメッセージを伝えることを目的として、「長良川コース」「木曾川コース」「揖斐川コース」「三川コース」の4コースをランナーが走破し、ゴールの岐阜メモリアルセンター内長良川競技場（岐阜市）を目指します。

- ・日程：平成30年10月28日（日） 8：30～12：30
- ・会場：各スタート地点から、岐阜メモリアルセンター内長良川競技場（岐阜市）までを走破します。

たすきりレーにあわせて、オレンジリボンキャンペーン等をスタート地点
やゴール会場で行います。

・主催：岐阜オレンジリボンたすきりレー実行委員会

・事務局：子ども家庭支援センターぎふ「はこぶね」

(TEL：058-296-2172)

●麦の穂学園 2018 子どもフェスティバル

日時：平成30年11月23日（金・祝） 10：00～14：00

場所：麦の穂学園グラウンド、地域交流ホーム麦の穂会館

（中津川市千旦林1468-51）

内容：模擬店、喫茶、ゲーム、バザー、イベント、展示コーナー、

手作りコーナー、乳幼児コーナー など

<問い合わせ先>

麦の穂学園 TEL：0573-68-2168

●日本児童育成園 ともだち広場

日時：平成30年11月25日（日） 10：00～15：00

場所：日本児童育成園内（岐阜市長良森町1-11）

内容：ステージ企画、劇団公演、模擬店、バザー など

<問い合わせ先>

日本児童育成園 TEL：058-231-1387

●若松学園 若松学園祭

日時：平成30年10月27日（土） 11：00～

場所：若松学園内（山県市大桑2358-5）

内容：模擬店、バザー、太鼓の演奏、人形劇 など

<問い合わせ先>

若松学園 TEL：0581-27-3148

●美谷学園 なかよし祭り

日時：平成30年11月23日（金・祝） 10：00～14：00

場所：美谷学園内（関市武芸川町谷口2221-1）

内容：各種催し物、バザー など

<問い合わせ先>

美谷学園 [TEL:0575-37-2131](tel:0575-37-2131)

●誠心寮 第38回ふれあい広場

日時：平成30年11月23日（金・祝） 10：00～

場所：誠心寮及び周辺（瑞穂市本田1475）

内容：模擬店、バザー、動物広場、SL 試乗、健康相談、餅まき など

<問い合わせ先>

誠心寮 TEL：058-326-3618

●白鳩学園 白鳩学園フェスティバル

日時：平成30年11月3日（土・祝） 10：00～

場所：白鳩学園内（恵那市大井町2716-13）

内容：バザー、ステージ出演 など

<問い合わせ先>

白鳩学園 [TEL:0573-26-2160](tel:0573-26-2160)

★★★

|【4】子ども家庭課からのお知らせ

—————☆☆☆—————

■児童養護施設入所児童等インターンシップの実施について

県では、児童養護施設入所児童等が将来の人生設計を早い段階から考え、自身の希望や適性に沿った就職等の進路選択ができるよう、この8月の夏季休暇期間において、岐阜県児童養護施設等サポーター様（13事業所）のご協力をいただき、インターンシップを開催しました。

中学生から高校生まですべて約50名が参加し、児童からは「経験してとても良かった」との感想が多く寄せられました。

ここで、アンケートの一部を紹介させていただきます。

<参加事業所様（50音順）>

株式会社 愛さんさん

株式会社 大垣共立銀行
株式会社 オンダマテック
株式会社 人材 Bank
株式会社 トーヨー
株式会社 ワイズ
河田帽商 株式会社
社会福祉法人 慶睦会
社会福祉法人 フェニックス
ハヤックス 株式会社
Pizzeria E Trattoria Da Achiu (ダ・アチュ)
有限会社 ニフコ
有限会社 ニューライン

<参加児童の声>

- ・将来の自分のために勉強になりました。
- ・仕事の大変さを知ることが出来た。仕事の楽しさを知ることが出来た。
- ・自分は小さな事をこつこつやるのは苦手なので、その小さな事がこつこつできたので勉強になりました。
- ・実際の職場を見学させて頂いた事で、就職した状況の理解が深められ、とても有意義な時間を過ごす事ができました。
- ・最初は緊張したけど職員さんたちが、とてもやさしく接してくれて緊張が解れて、とても楽しかったです。

<児童養護施設職員の声>

- ・子どもが興味のある仕事を実際に行ったことで今まで想像していたことと実際の大変さを子ども自身が認識できた。又、そのことが様々な仕事を体験したいという、働くことへの意欲につながった、自立を考える良い機会になりました。
- ・実際に仕事を体験させていただいたが、子ども自身が“仕事”を知り、実感することのできる、とても良い機会になったのではないかと思います。
- ・今回参加した中学生に話を聞くと、知らなかった事が知れた、大変だったなど良い経験につながっている言葉が出ていて良かったと思いました。子どもたちの視野が広がると思うので是非今度も参加させたいと思います。

参加事業所様には、当日のインターンシップの実施はもとより、それに至るまでの調整や準備など、多大なご尽力を賜りました。本当にありがとうございました。

